

平成 23 年 3 月 1 日

## 22 年度第 5 回 運営推進会議議事録

記録 田中、久貴谷

### 参加者

地域包括支援センター長	釣谷様
保健福祉課係長	笠原様
緑町町内会長	首藤様
緑町町内会副会長	松木様
緑町保健福祉部理事	佐藤様
緑町民生委員	松木様
緑会 代表	田本様
ご家族代表	阿部様 岡様

スタッフ 中村 若狭 田中 久貴谷

中 村～始める前に皆様にご報告。3 月末にはグループホームスプリンクラー設置完了予定。火災は起きてはならないが、万が一何かあってもスプリンクラーが作動する。また、先日の若年性認知症の講演会に参加していただきありがとうございました。

久貴谷～今年度から地域の方々とのなじみの関係作りを目指し、年 3 回食事会を企画した。3 ヶ月に 1 回、第 3 日曜日に行い、4 月は制作活動を企画し、3 名、7 月は入浴で 2 名、10 月は制作活動、カラオケで 6 名参加していただいたが、ホームの反省として「地域の求めているニーズをきちんと捉えていなかった」「回覧は 1 回だけで、日にちが近くなったら、再度回覧し、積極的に参加を呼びかけることはしなかった」「3 回目は町内会長にお願いし、回覧してもらったが、無理して参加していただいたのではないか」「1 回終わる毎に感想を聞き、何が必要と思っているかを確認しなかった」ということがあがった。来年度に向け「もっとこうして欲しかった」「こういうのがあればよかった」など意見を聞かせてほしい。

松木様～制作活動自体は「こういうのもあるんだ」と思った。ここに住んでいる人が手の運動でこういうことをやっているのだと理解した。食事は量が多く、立派すぎた。自分の考えではチャーハンやカレーでもよかったという感じを受けた。案内は回覧でまわしたが、皆さん見ていると思う。ただ、自分はここに来たことがないから来づらいという気持ちがあったのではないか。

首藤様～1 回目は回覧が回ってきた。どれ位集まったのかと気にはなっていた。また、こういう風にやりましたというのを回覧した方がだんだん集まるのではないか。回覧することで、知られていく。緑会で年1回くらいはここでやってもいいと思う。過去にここでやったことがあった。

佐藤様～何年か前に、40 人くらい集まって、ここを借りてバイキングをした記憶がある。皆さんよろこんでいた。経費がかかっているのではないか、厨房の人に気の毒という気持ちがあった。私たちの食事会では1人 350 円いただいている。場所が違えば違う。やってもらえるなら100 円ではなく、同じ金額でもいい。そうやって交流してもいいと思う。

松木様～食事が豪華で驚いた。ほとんど食べたが苦しいくらい。無理して食べていた。毎日そういうのを食べているのか。

久貴谷～毎日ではない。行事などの時に提供している。

松木様～あとは制作活動の時間が短かった。

首藤様～緑会では、わかっているけど毎回ちらしを配っている。お年寄り結構忘れてる。今年もやるなら毎回回覧した方がいい。お風呂の時もそうだが、次はいつですと確認するようにしている。

久貴谷～日にちが近くなっても案内を出していなかったため、何かやることはわかっているけど、いつだったか、どういう内容だったかがわからなかったのではないかなと思う。

中 村～結局は地域が何を求めているのかを、きちんと把握できないままやってみただけになっている。ここで行事をやるときでも2ヶ月前には案内しているはずだが、地域に対してはできていない。地域でやっていることの内容、情報収集がきちんとできていなかったと思う。何年か前に、交流目的で、その時は500 円いただいたと記憶している。食事に関しても地域とホームとの比較ができておらず、企画が甘かった。その人の立場に立って、普段の食事はどういうものかということが考えられていれば、食事の内容も違ったはず。1 回出したからわかるという感覚しかなかった。何回もきているからわかること。それに気付けない現状があった。自分たちが高齢者との関わりを持っているにも関わらず、これだけ無縁社会になっている中で、情報発信をたびたびしていかなければならないと思う。それで、来年度の提案を私の方からもさせていただきたい。今年だめだったから、来年はということではなく、修正していきたい。長寿会、緑会、ホームがバラバラにやるのではなく、一緒にやってく方法もある。地域のニーズを把握した上で、来年度はこういうのがあったらいいという提案をしてもらい、それに答えていきたい。また町内会に入れてほしい。今年はぜひ検討していただきたい。

松木様～全国のこういう施設で、市町村や役場が「協定書」を結んでいる所がある。避難場所など、そういうものがあればいいと思う。

中 村～協定書は行政、地域が主導となっている。

松木様～そういうものがあればいいと思っていた。お茶会や目配りなどでもいい。

緑町では一昨年から、役場から助成金を受けている。アップル温泉などもその中に入るが、まだ5つも6つもある。来年度の予算をくんでいる状態だが、そういうのも活用して、やっていければいいと思っていた。33.3%は年配者。町内会としてやっていけるのかと不安な部分もある。ただ、民間の会社に関係のない者来てというのは気の毒。ここの接点ができると違う。無縁社会にしたくない。お茶会でもなんでもいい。こちらを活用させていただければ非常にありがたい。

中 村～緑会でもお弁当を配ったりして安否確認し、目配りしていると思うが、社協がやるなら、こういう福祉施設に呼びかければいいと思う。グループホームは地域に還元しなさいという役割。少しでも還元できればいいと思っている。協定書の話もあったが、入居者様のほとんどは、体が不自由になってきている。万が一火災になっても、地域の人に助けてもらわなければならない。

首藤様～最近ここら辺に消防車が来たことがあった。ここかと思って来てみたが違った。そういう時消防からこちらに連絡はあるのか。

中 村～連絡は来ない。ここが誤作動の場合は消防に連絡することになっている。

何かさせてもらったから助けてほしいというわけではないが、火災だけではなく、災害もありうる。近隣に住んでいない家族にすぐ来てほしいというわけにもいかない。そうすると地域の方に頼るしかない。家族としても、何かあれば地域の方に助けてもらえればという気持ちがあるのではないかと思う。

1つ提案なんです、七飯町のアンケート結果が広報に載っていた中で、買い物や病院に行くのが不便という意見が出ていた。買い物はどうしているのだろうと気になっていた。平日はデイサービスをやっているの、日曜日に限定されるが、足の不自由な方、不便と感じている方を対象に買い物支援をしたいと思っている。送迎や重い荷物を玄関先まで運ぶことはできる。町内会だけでも難しい。緑町をモデルにやってみた結果を行政にぶつけたい。日にちを決めて行い、モデル地域を作りたい。

松木様～民間であれば行く場所を決められる。役場であればできない。以前巡回バスの話もあったが。

中 村～アンケートでニーズが出てきたら、できる方法を議論しているのか。

笠原様～何年前前に巡回バスの話があり、すすめていたが、途中で立ち消えになった。でき

ないというわけではないが、やり方をどうするかということになる。

松木様～緑町をモデルにして、こうでしたと持っていてもいいと思う。

中 村～キャラバンなら6人から8人は乗れる。100円でガソリン代にはなる。100がいやというなら、200円でも300円でもいい。食事ではなく、日曜日限定だが、外出に必要な部分をお手伝いしたい。バスに乗った人とも関係ができることで、地域との関わりが更にできる。必要なニーズのサービスをした方がいいと思う。こういうのもあるという意見はないか。

田本様～今は不便に感じていないが、いつどうなるかわからない。月1回でもそういうのがあれば必要なものは買える。

佐藤様～1人生活で、運転もできない。ここまで来るのにも、7、8分余裕を持って来ている。以前入浴中動けなくなったことがあって、ヘルパーを2、3回使った。そういう時は買い物も怖くて行けない。

中 村～好きなものを選んで買うことも生きがいになる。日常生活に必要な部分をお手伝いしたい。

佐藤様～他の施設で買い物ボランティアをしていたことがあったが、1人1人について、一緒にまわり、選んで買っていた。

中 村～月2回は食品、他にも衣料品など考えてやってみて、実績をまとめて、これだけニーズがあるということを行政にぶつける。買い物支援を地域の中でどれぐらいニーズがあれば、やってもらいたいのか、ルートを決め、町内会でこの日は玄関で待ってもらえるように町内会に声を掛けてもらいたい。地域の方々の会話や様子、状態も見えてくる。

松木様～今は運転できるが、何年か後にはできなくなることを考えると不安。

阿部様～母も1人暮らしで、近くのスーパーもなくなり、選んで買うこともできなかったため七飯町から通ったことがあった。週1回だと子どものことでも忙しく、生協の共同購入を利用した。買い物は今ニーズが多いと思う。いろいろな企業で参入している。ただ、スタッフが手薄にならないか心配。

中 村～グループホームの職員だけでは限界がある。デイサービスのスタッフもいる。グループホームをやっている以上地域のニーズに答えていかなければならない。災害はいつ起こるかわからない。人動的な保険も必要。

阿部様～雪が降ったら、車を持っていても大変だと思う。不安材料を消しながら、やってい

くのはいいことだと思う。

岡 様～七飯町に住んでいるが、そういうことがあったら、地域の方をお願いしたい気持ちがある。

中 村～目に見えない効果もあると思う。

釣谷様～地域と関わっていかねばならない。こういう施設は地域で孤立してしまいがち。1つの方法としていいと思う。

中 村～民間から発信するよりも社協や地域包括がニーズを把握してコーディネートしていかねばならない。それぞれが役割分担していかねばならないと思う。いざ何かあってもどうにもならない状況だと困る。地域で何かあれば、私たちも手助けしたい。地域で災害があった時にどういう対応をしなければならぬかが見えてこない。後でやればいいということではない。高齢化がすすんでいる中で、早急に対応しなければならぬ。できる私たちがやっけていき、行政に働きかけるしかないと思った。

首藤様～巡回バスの問題など、いろいろ提起してきたが、先が見えない。こういうことをできる地域からやっけて、いいと思えば他の地域も真似すると思う。

中 村～できることからやっけていく。ボランティアだが、いくらならバスに乗っけて、買い物に行きたいと思うのかアンケートを作成し、町内会に持っていく。こちらで集約し、来年度に向けてすすめていきたい。ただ、事故などのリスクもある。ぶつけられることもあることは理解してほしい。簡単なアンケートを皆さんに書いてもらい、試験的に行い、よければ、きちんと形にしていきたい。再度になるが、町内会に入れてほしい。そうすれば議会にも参加できる。

首藤様～本町、おおぬまがどういう条件でやっけているのかを聞きながら検討したい。その上で役員会に提案する。

松木様～人は町内会から出すのか。

中 村～スタッフがやる。どこが適度なのかもアンケートで聞きたい。このような形ですすめていきたいが、どうか。

釣谷様～地域にとってもホームにとってもいいことだと思う。

首藤様～結果を大事にしながらすすすめていければいいと思う。

中 村～なじみの関係ができれば、原点に戻って、長寿会や緑会と一緒に食事会もやっていければいいと思う。食事会をやめるということではなく、うまくいかなかった、それなら次になにができるかを考えた結果が買い物支援だった。その中に組み込んでいく方法もあるが、まずはニーズを拾って行って需要があれば食事会もやっていきたい。ニーズと必要性があったと思ったが、長年やっている人たちがいる中では難しかった。長寿会や緑会が、高齢化になり、今後できなくなったという時に、次の担い手として、その時は私たちが引き継いでもいい。

佐藤様～地域のボランティアも高齢化しており、送り迎えも難しくなっている。

中 村～そういう中で若者が老老のお手伝いをさせていただければと思う。食事して、買い物に行くなど、徐々に形を変えていく方法もある。  
少しずつ地域から引き継いでいければと思っている。

阿部様～アンケートの結果を家族に教えてもらえるのか。

中 村～家族には地域との関わりということで、ハッピー通信でお知らせする。

松木様～地域の人たちには社会貢献の一環としてやるという主旨を伝える。

首藤様～是非成功させてほしい。

笠原様～データ化したものをいただきたい。

岡 様～地域の方にお世話にならなければならないので。

中 村～それでは、このような形ですすすめていきます。今後よろしくお願ひします。